



あんずる
案

富岡 勝則

皆さんこんにちは。

暑い日が続いていますが、お体は大丈夫でしょうか。この暑さを乗り切るためには、夏バテしない体力をつけることが必要だと思います。そのためにも、冷房や冷たい物を少し控え、寝不足にならないよう注意するなど、食生活も含め、規則正しい生活を心がけることが大切だと思います。

さて、今年の6月に、道路交通法の一部改正が行われました。飲酒運転などに対する罰則の強化や、75歳以上の方で免許を更新する場合には、「講習予備検査」を受け、その検査結果に基づいた「高齢者講習会」を受けなければなりません。ここ数年、高齢者の方々の交通事故件数が非常に増えています。朝霞市も例外ではなく、既に昨年と同じ2名の方が亡くなりましたが、ともに高齢者の方でした。たいへん残念な気持ちでいっぱいです。

特に、高齢者の方は、運転する場合など、一般的に視野が狭くなり、判断能力も鈍くなるといわれています。そこで、事故を未然に防ぐ試みとして、1998年に高齢者の運転免許証返納制度が導入されました。でも、制度の利用者が増えないようで、ひとつには、免許証が身分証明がわりになるので、なかなか進まないのかもしれません。

市では、この制度が進むよう70歳以上の方が、警察署に免許証を返納し、証明書を持参すると、身分証明書にもなる住民基本台帳カードを無料で発行しています。運転しなくなった、運転に自信がなくなった方など、ぜひご利用ください。

また、朝霞警察署管内（朝霞市・志木市・和光市）の事故発生状況ですが、6月30日現在、2,186件で昨年と比較して、179件減っています。しかし、残念なことに人身事故で既に昨を上回る4名の方の命が奪われました。

私も、先月、事故現場を視察しましたが、このような場所で死亡事故が起ることなど考えてもいませんでした。二度とこのような悲しい事故が起きないように安全対策の強化を図っていきます。

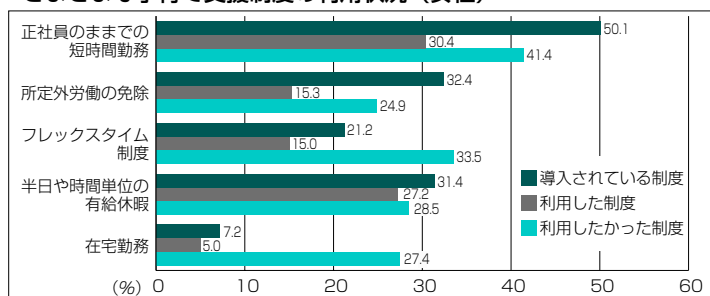
いずれにしても、事故に遭わない、起こさないためにも、一人ひとりが交通安全の意識と人にやさしい運転マナーを心がけることが大切であると思います。皆さん、安全運転をお願いします。

ではまた。

朝霞市は 男女平等を進めています —統計データから読む男女共同参画⑤—

2008年2月の「企業における仕事と子育ての両立支援に関する調査研究報告書」（財団法人こども未来財団）では、企業は仕事と生活の調和を取れるよう、柔軟な働き方ができるさまざまな支援に取り組んでいるが、データからは利用した制度は少ないことが伺えます。

■さまざまな子育て支援制度の利用状況（女性）



インターネット上のモニター調査、有効回答数2,504件。調査対象は未就学の子を持つ正社員の男女。調査時期は2007年10～12月

※このコラムは、「朝霞市男女平等推進事業企画・運営協力員」との協働により掲載しています。

問い合わせ／人権庶務課 内線2255 ☎048-463-2697(直通)

ひとの推移

人口 12万9,160人(－104人) 世帯数 5万8,412世帯
男 6万6,159人(＋62人) (－155世帯)
女 6万3,001人(－166人) 平成21年7月1日現在()内は前月比

市民センターの休所日が変更になります

11月1日(日)から市民センターの休所日が下記のとおり変更になります。

今までの全センター月曜日休所から半分を火曜日休所とさせていただきます。

利用者の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、常にいずれかの市民センターが開所していることになり、より便利になります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします（年末年始の12月29日(火)から1月3日(日)は全ての市民センターが休所日です）。

なお、11月分の抽せん予約は、8月5日(水)～15日(土)までとなっています。

※11月1日(日)にオープンする膝折市民センターの予約手続き等は、広報あさか9月15日号以降でお知らせする予定です。

○休所日

集会施設名	休 所 日
宮戸市民センター 栄町市民センター 溝沼市民センター 根岸台市民センター	毎週月曜日
弁財市民センター 朝志ヶ丘市民センター 仲町市民センター 膝折市民センター	毎週火曜日

問い合わせ／地域づくり支援課
内線2252～3 ☎048-463-2645(直通)